

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

これより7番宮本栄八の一般質問をさせていただきます。

本日は、皆さん、簡潔な質問とか簡潔な答えというのが本日の課題になっているのかなというふうに思っておりますので、私も簡潔な質問をしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

本当は、この3日目の最後というのが一番皆さんも疲れめますし、私もいつも疲れるところですので、その辺はよく考えた上でやっていきたいと思っております。

まず、本日の質問は、1、雇用拡大について、2、市施設整備について、来年度予算に向けてお話ししたいと思っております。3番目、西部広域ごみ処理場のことについて、4番目は上下水道についてです。

まず、第1番目の雇用拡大についてです。

菅政権でも、雇用、雇用、雇用と言われますけれども、なかなか進んでもいないような感じを持っております。以前にも言いましたように、平成22年度の武雄市の最大の事業は何かといえば、この間も言いましたけれども、企業誘致ではなかろうかと。それは、来年度に完成します北方の新工業団地の入居者をできるだけ早く探して、その企業の要望に応じたカスタマイズをされた工業団地にしていくと。そして、使い勝手がいいようにしていって産業が発展していただくというのがことしの最大の事業ではなかったかなというふうに思っています。

そこで、企業誘致について、以前、ちょっと職員さんが新幹線と合同になっておりますので、実際、3名、5名ですけれども、1人は理事だったから、2名ぐらいのことで、ちょっとその力が弱いんじゃないだろうかというようなことも申しておりました。でも、一応、県とのコラボレーションのためか、県のほうが、東京、大阪に駐在員を出して、そこで営業しているというようなことでの話でした。まずは、その状況を聞いてから、今後また質問をしていこうかなというふうに思っておりました。

そこで、第1番の質問ですけれども、県のほうから企業紹介とか、そういうのの状況はどうなっているかお尋ねいたします。

○議長（牟田勝浩君）

前田副市長

○前田副市長〔登壇〕

企業誘致についてのお尋ねでございますが、最近、こういう景気が落ち込んで非常に厳しい状況でございます。以前、若木の工業団地を造成して売り出したとき、ちょうど私、そのころから企業誘致を担当していますが、その当時は、1年間に市内で3社、4社の誘致ができておりました。逆に、断っていいような状況でもあったわけですよ。

そういう中で、県のほうでも一番いいときは40件、50件の誘致があって、この間、県の会

議に行ったところでは、数件ぐらいしか県内でもあっていないと、そういう非常に厳しい状況でございます。それで、県との連携は当然とっていきますけれども、ただ、武雄については、ここ数年見ますと、企業誘致なるものが結構あっております。というのは病院もしかりでございます。看護学校、リハビリの学校、四、五百人の雇用が生まれると。それから、アネックスの後のリジョイスの誘致、それから、SUMCOの100人の寮の誘致。これについて、何回となく担当者がSUMCOのほうに出向いて何とか誘致ができたということで、武雄にとっては幾らか誘致はできておるといふふうに思っておりますので、今後は、今言われますように、北方の工業団地を一日でも早く売れるような体制で、市長以下、全精力を使ってやってききたいというふうに考えます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

私は、県の状況というですかね、武雄市さん、この人という紹介というのは特にあっていないと。県の会議に行ったら二、三件があったと言われましたけど、その二、三件について、武雄市が動くのか、唐津とか有田とか鳥栖ですかね、だれが動くのか、フリーで動けるのですかね。その辺が1点。

私がもう前から言いたいのは、県は県で大阪、東京におるでしょうけれども、まだ、例えば、アイリスオーヤマとかは東北のほうですよ。だから、それ以外のところに市の職員さんが行ってたほうがいいんじゃないかなと。それで、もし、新工業団地というのは物すごく大きいから企業的に限られると思うんですけども、そこでいろいろ話していたやつが、ひょっとすれば若木の1つの残りとか、山内の堀切団地の空きとかですよ、そういうところに横滑りということもありますし、鉄道高架の開発エリアに来る人がおるかもしれんから、とりあえず今はあちこちに行っていたほうがいいんじゃないかなというふうなことも思いますけれども、どうでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

前田副市長

○前田副市長〔登壇〕

先ほど県のほうで数件と言いましたけれども、これは今現在、年間で数件誘致ができておるといふことで、紹介の件数ではございません。ただ、県のほうから紹介が何件とかそういうことじゃなくて、県は県のほうで誘致活動をされています。当然、市のほうでも予算がありますので、市単独でも誘致活動をしております。そういう中で連携してする分については、連携して一緒に行くとか、そういう誘致活動を今行っております

そういう中で、今、県のほうで北方を含めて新産業集積エリアが県内で4地区今計画をされていまして、唐津地区、それから有田地区、武雄地区、鳥栖地区ということで、造成につ

いては唐津が一部造成ができて分譲開始がっておりますけれども、その次が武雄でございます、武雄の場合が、面積が唐津の相当規模以上ありますので、武雄、約18ヘクタールですかね、そこら辺について、県のほうもこれは重点的に今からやっていくということでございますので、連携してやっていくということでございます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

1問で終わる予定が何問もなっておりますけれども、そしたら、武雄市として今やっていると言われますけれども、あの職員さんはほとんど私が行くときはそこにおられますよね。どのくらい出張してされているんですかね。

○議長（牟田勝浩君）

瀏野営業部長

○瀏野営業部長〔登壇〕

宮本議員から心強い後押しありがとうございます。

確かに今言われましたように、職員が3名、それでも企業誘致と新幹線を持っておりますけれども、情報が入ったときには即出て行って対応をしています。今のところ、延べ日数で15日間は企業誘致に回っています。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

そしたら、ちょっと私も言いよると、これが終われば責任は私もあるもので、もう1つ今度は理事が西部広域ごみ処理場のほうに行かれましたので、また新体制を整えて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

雇用拡大の中の第2番目、都市計画ということです。

これはどういうことかといいますと、私の家の周りは、空き地だったのに、最近、家がとんとんと建って、全部埋まってしまったんですよ。だから、不況、不況と言いながら、意外と建て売りのなというんですかね、建築需要みたいなのがあるんじゃないかなということで、そういうのがふえていけば仕事がふえていくということで拡大すると。ということは、やっぱりいい場所がないといかんということですね、今度の工業団地と一緒に。

それで、以前から言っております北方の、合併してすぐ私が建設委員会のときに北方の中央線というのを1億円でつくりましたよね。そしたら、そこに家が建つのかなと思ったら農振地域で建てられないということで農振除外をするためのことを聞いたら、前のそのときのまちづくり部長さんが農振除外をするために都市計画を北方のほうに指定して、そして変えていきたいということで、18、19、20、21、22と、もう5年たっておるわけですよ。

それで、これは里の駅きたがたさんのちょっと図面をお借りして拡大して説明しているんですけども、（パネルを示す）きたがたさんも中央線の近くにいられているわけですよね。だから、ここはいい場所ではあるわけなんですよ。だから、ここについての、速やかになって、前の部長さんが言われてから何年もなりますけれども、この都市計画で農振除外の大体のめどはいつごろになるんでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

今、速やかにという言葉を使われましたけれども、今、北方町、山内町も含めてですけれども、現在、都市計画の区域の見直し案をつくって地元区長会等には説明をしてきたところでございます。12月いっぱい、地元の住民説明会を予定しておりますけれども、今後、地元の議員、区長会、協議会等と相談しながら、より早く進めていきたいと思っております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

もう12月に案ができていて、それを説明する段階になっているということですかね。

〔まちづくり部長「はい」〕

ありがとうございます。そしたら、早く決定していただきたいと思います。

それと、決算委員会のとときに、地元の要望に沿ってというふうに言われましたけれども、私からしたらですね、今、ここは農地としてあるから、地元の人が農地のままでいいじゃないかと言われて、それをすんなり「はい、そうですか」ってちょっと言われるのも私からすれば困るんですよね。武雄市全体として、この地域が本当に何に必要なのかを考えて、武雄市はこう思うからこれでどうでしょうかというようなことでやっていただかないと、どうしましょうかということではちょっといかんかなというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

もう1カ所は、今度、下水道の計画は20年計画になりました。20年計画で狭くなったんですけども、そのときに下水道課から示された下水道の予定地区というですかね、その中で東部のほうが新たに入っておったわけですよね。開発予定地区といってから33ヘクタールもあるわけですよ。今の公共下水道の認可区域と同等ぐらいの広さがあるわけですよね。20年と言われる。北方でも、今言われるのも5年、準備段階で5年たっておるわけですよね。だから、この開発地域33ヘクタールを20年ですとするならば、どういう方向でされようとしているのかお尋ねしたいと思います。

○議長（牟田勝浩君）

山田政策部理事

○山田政策部理事〔登壇〕

公共下水道の実施予定区域図でありました開発予定区域でございますけれども、33ヘクタールということでしておりますけれども、これにつきましては、旧武雄市が平成14年度に作成しました武雄市東部地区都市計画開発の整備計画によりまして、開発予定地域ということで計画している面積ということでございます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

開発している予定地域は予定地域と言われたと言いよるじゃないですか。だから、これは、下水道を20年で完成するということは、ここが20年でできんと、下水道も20年で終わらんとということになるわけですよ。だから、どういうふうな手順でここを進めていかれるんですかというのを聞いております。

○議長（牟田勝浩君）

山田政策部理事

○山田政策部理事〔登壇〕

当該地域につきましては、いろんなゾーンということで計画をいたしております。そういうところに民間からの進出とかいうふうな話があったときに、そのゾーンに従いまして、誘導しながら開発を進めていくという計画でございます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

民間から何かあったときに進めていくと。そしたら、民間がなかったら下水道が20年で終わらんですよね。そいぎもう、だらだらせんばいかんような格好になるわけですかね。ちょっと今はそういう答えしかできないということであれば、また今度質問したいと思います。ただ、そういうことになっていますので、整合性の合うような形の説明をしていただきたいと思います。

続いて、さっきのやつは、まずは企業誘致、規制緩和ですね。次は、地元発注です。

地元発注で、以前もちょっと申しましたけれども、朝日小学校のときには武雄の3社で設計をしたと。それも、もう以前にずっとありながら、武雄でできんやできんやと言いながらようやくしたと。でも、その後はまた佐賀の業者に武雄がベンチャーでつくつというような形になっておりまして、今度、武雄小学校の基本設計というのは武雄ではできんのかなというふうに思っておりましたけれども、大規模改造のほうは武雄でできるんじゃないかなというふうに思っておりました。それで、決算のときに、そういうふうになっていると思って聞いたら、いや、一括発注だったと、一括発注で佐賀の人が中心になったベンチャーでされて

いるということだったからですよ、やっぱりそこは分離分割発注をすれば地元発注がふえるわけなんですよ。それで、私とその分離分割発注の司令塔をだれがしているんですかというのを決算委員会のところでお聞きしました。しかし、はっきりした答えがちょっとなかったんですよ。だから、発注主の教育委員会なのか、設計書をあげるまちづくり課なのか、発注の実際の業務をする政策の発注担当というんですかね、発注係というか、結局どこでどういうふうにそういう戦略的な地元発注をされているのかなというのがちょっと疑問に思いましたので、その点についてお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

一般的に、基本設計と実施設計を分離して発注すべきと考えておりますけれども、今回、学校改築等におきましては、事前に簡易耐震診断ですか、それをもう実施されておきまして、棟ごとに、大規模改造なのか改築なのか決定されております。それによって、大規模改造設計の場合は耐震補強設計と部屋の再配置等の設計が主体となりますので、耐震設計実施設計は一体の作業として切り離すことができないという場合もあります。

それと、改築設計におきましては、耐震基準を含めた最新基準法に沿った設計をされております。

そして、今回基本と実施を一緒にしたということでございますけれども、特に学校の場合に関しましては、施工時期が夏休み等で制限を受けることがあつたりしますので、次年度の施工場所は、基本設計と次年度の施工場所を含めたところの実施設計をせにゃいかん場合がありますので、今回同時委託をしたというケースもあります。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

そしたら、その分離というのは、発注者の教育委員会じゃなくて、その契約係でもなくて、まちづくり部のほうがその算段を、計画を立てるといことですかね。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

私どものところでは委託を受けるのでありまして、設計委託——設計をするだけでございまして、あと起工して契約検査のほうに回す手順をしております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

委託を受けて回すだけと言われましたけれども、その前の答弁は、結局、次年度に絡んでいるからどうのこうのという発想というのですか、企画というのですか、戦略というのですか、それはやっぱりまちづくり部ということでしょう。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

まちづくり部のほうといたしましては、先ほど、お金的には教育委員会のほうが原課でございますので、教育委員会の整備計画、先ほど何年度計画とかありますので、例えば、初年度には基本計画、そして、次年度の施工場所の実施設計、改造なり改築をする場所ですけれども、そこら辺を年次計画に合わせたところでうちのほうはしているつもりです。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

ということは、もともと分離分割発注できるような発注というものはどういうものかというのをやっぱりまちづくり部から原課に教えんと、こうしたら武雄市の業者が使えますよと。だから、計画はこういうふうにあらばいかなんというふうなことをやっぱり教えてやってもらうか、そういうふうなことをちょっとせんといかんじゃないかなというふうに思います。どちらにしろ、地元が発注できる形や、前は小学校もできたわけで、今度の武雄小学校もクラス的には朝日小学校と同じくらいだから、規模的には武雄の3社でできなければいかなんやないかなというふうなことも思っておりますので、ひとつその辺の戦略的発注について御検討をお願いしたいと思います。

次には、学校給食の食材の地元発注です。

きのうも論議がございましたけれども、私が教育委員会に地元発注の食材のことを言うと、いや、それは各学校の学校給食委員会が決めるのであって、教育委員会からいろいろ言う権限は持っていませんという、一刀両断でいつもずっと切られてきたわけですね。だから、願いの何かそんなこともちょっとにおわせて言ってもらえんやろうかというふうなことを言っておりました。

そしたら、きのうの答弁で、こども部のほうで何か発注をされる学校給食委員会の中心である栄養士さんにいろいろ御指導してあるという話だったですもんね。だから、私の聞いたルートじゃないところではもっとできるのかなんというところで、実際問題、教育委員会とかこども部のほうからそういうふうにするような働きかけはできるものかについてお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

浦郷教育部長

○浦郷教育部長〔登壇〕

給食の食材につきましては、先ほど議員が言われたように、学校のほうから直接発注をしています。きのう、答弁等で食育関係であったのは、地元産をできるだけ使ってくださということ、それは食育の観点、そして、学校教育の観点からも言えるというふうに思っていますけれども、私で言えるところはそういうところでございます。

○議長（牟田勝浩君）

馬渡こども部長

○馬渡こども部長〔登壇〕

ただいま教育部長が答弁いたしましたとおり、私どものほうも、できるだけ地元産を使っていたきたいということでお願いはしていくつもりでございます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

指導はできんけどお願いはできるというちゅうわけですたいね。できるだけそういうふうをお願いをしていただいて、また、地元食材もあるし、地元業者から、例えば干物を買うとか、そういうのも、何か話によりますと、結局その調理の業務委託を受けている会社がありますよね、いろんな魚国さんとか栄養職員さんとかですね。その口座を持っているところが発注しやすいのか、そういうところによく行くんじゃないかとかですね。佐賀の学校給食会から、結局地元にあるのも学校給食会からとったりとか、そういうのもちょっと地元産の野菜を使うという、もっとまた別の段階であるみたいなんですよね。だから、そういうことについても、ちょっと調べて、もしそういうことであるならば、できるだけ学校給食会にあって、地元でも扱っているなら地元のほうを利用していただくようなこともお願いしていただけたらと思います。それで、要はいろんな方法をして雇用拡大に努めていただきたいとは思っております。

次に、市施設の整備についてお聞きします。

学校改築が耐震がらみで大いに進んでいることでうれしく思っております。これも合併特例債を利用してしてあるのでいいんじゃないかなと思います。一般の市民の方からは、学校ばこがん、どんどん改築しよって本当によかどねと言われますけれども、これは耐震だからどっちみちやらんといかんですもんねと。そして、合併特例債も利用しておりますので、この学校改築については私はいいことだと思っておりますというようなことをちょっとずっと説明をしているんですけども、そのくらい、皆さんが心配するぐらいにどんどん進んでいるということでいいことだと思っております。

それで、私は以前から言っておりますけれども、武雄小学校の件で、（パネルを示す）今、体育館が校門の横にあるんですけども、今度の計画によれば、一番奥のがけのところに行

くと。そして、しかも、その体育館を校舎がLの字に囲むというのですかね。だから、行くところは細い細道というのですかね、そういうような格好になると思うわけですよ。

それと、やっぱり体育館というとは緊急避難場所でもありますし、地域の総合的な社会体育施設でもあると思うわけですよ。だから、今後、もう耐震もなければ、アスベストもないとなれば、もう相当古くなるまで使うような感じになるんじゃないかなと。そうなってくれば、こういう奥の細道みたいなところをこう行くんじゃないなくて、もうちょっと表に出てきてつくるべきではないだろうかというのを言っているわけですよ。

この設計は多分、今の敷地内での配置図を考えてあると思うわけですよ。そこで、私はもともとそう思っておりましたけれども、ここに武雄保育所が、この図面でいけば、今の体育館より大きい幅があるわけですよ。だから、武雄保育所を移転して空白地域をつくってしたらいいんじゃないかなと。設計士さんにこの保育所の敷地があくということを書いて、このスペースで計画してくれって言ってあればいいと思うんですけども、それは言っていないわけだから、スペースがあかない中での配置になっておりますので、どうしてもこういう苦しい配置になるかなというふうに思うわけです。

そこで、前から言いましたように、武雄保育所は15年から現施設の近くに新築するというのをずっとしてあったから、私もずっとそう思っておったわけですよ。その時期が22年と、ことしなんですよね、大体言えば。そして、全くなっていないということで、ちょっと順序立てて話せば、この基本計画は、もし、保育所がこれを建てるまでに移転できるということがわかれば、この体育館のぎゅうぎゅう詰めというのをもう一回考え直すことができるのかについてお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

浦郷教育部長

○浦郷教育部長〔登壇〕

簡潔に申し上げますと、建設検討委員会等で御確認をいただきながらこの配置計画もつくっていますし、保育所が動くかどうかわからないという段階で基本計画を変えるということは、今の段階ではできないということであります。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

いや、だから、移動することがわかって、もう一回会を開いて、いやそれならばということであれば変えることもできるわけでしょう。

○議長（牟田勝浩君）

浦郷教育部長

○浦郷教育部長〔登壇〕

申し上げましたように、前提条件がきちっと変われば、またその時点で考えることはあり得るかも知れません。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

もうそれで結構です。可能性があれば、私としても議員としての責任がとりあえず、次、上がるかどうかわかりませんが、まずここはいいかなというふうに思っております。よろしく申し上げます。今の言葉、皆さん覚えておってください。よろしく申し上げます。

次に、武雄中学校の件です。

武雄中学校で、上田議員のほうも申されておりましたけれども、（パネルを示す）今度新しくできる中学校のテニスコートが3面だと、別にここ重箱堤を埋めると4面できるんじゃないかなと。それもありますし、ここで駐車場の確保というですかね、そういうのも武雄中学校はそう十分にあるというふうには思いませんね。

そこで、テニスコートに関する重箱堤を埋めてするということについての御意見をお聞きます。

○議長（牟田勝浩君）

浦郷教育部長

○浦郷教育部長〔登壇〕

御存じのように、重箱ため池と申しますけれども、そのため池につきましては、今、地元の小楠区のほうで管理をさせていただいているところであります。この小楠区と十分な話し合いをしながらどういうふうにできるかということは今後考えていきたいと思っております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

はい、それで結構です。ありがとうございました。皆さん、忘れないようにお願いします。

次は、武雄中学校の武道場と体育館の関係です。（パネルを示す）

私は、今度、武道、ダンスの義務教育じゃないんですけれども、専修科というですかね、必修科というんですかね、そういうことで補助金が来るということで、体育館を別に建てたほうが補助金利用というのがあっていいのかなと思って、この図面についてはいいかなとも思っておりました。でも、この間の話じゃ、武道の補助金は利用しないということであったから、そしたら、もう武道場と体育館を別々につくる意味がなくなったなというふうには思ったわけですよ。そうすると、武雄中学校と同じ規模である鹿島の西部中学校とかなんかは、もう武道場と体育館が一体化しているですもんね。今度はたまたま子どものサッカーで、牛津中学校が新しく体育館みたいのができていましたので見ましたら、体育館の部分と、また

こっちの上の段が分かれていて、卓球みたいなやつができて、そこから観客席にもなっているんですよ。だから、私が言った観客席を設けてくれというのが、合体すれば自然に観客席ができてくるというのですかね。そのときここは、使えばちょっとだめですけども。

だから、そういうふうな形のやつは、伊万里にもありましたもんね。そこは剣道と一緒にあったかなと思いますけれども。だから、その辺を合体してしたほうがいいんじゃないかなと。すると、裁判費用の1,200万円もその辺で節約できるんじゃないかなと。すると、皆さんの事業もできるんじゃないかなというふうに思いますけれども、どうでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

浦郷教育部長

○浦郷教育部長〔登壇〕

屋内運動場を、体育館をつくるときの補助の考え方は、基本的に言うと、アリーナ面積を見ていくわけですけども、2階の部分に1.5メートル以内だったと思いますけれども、管理用の通路としてつくる場合、これについては認められるわけですけども、それより広くなるという場合については、これは補助単価とは別という形で一般財源という形になっていくわけです。その分を一般財源で賄えることができるのかどうかというのが非常に問題になってくるだろうと。今までの、学校、屋内運動場の体育館でつくるときには、基本的には、武雄市の場合については、1.5メートルの管理通路という形のみで計画をし、実施をしてきているという状況にありますので、今ここで方向性を変えるというのは、なかなか難しいというふうに思います。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

去年、私がちょっとよそのリサーチ不足で、昔のもう1つ姉ちゃんの中学校時代の話をしておりましたので、ちょっと古かったかなというふうに思いますけれども。だから、もうここに観客席をつくらずに、合体してあるのは、こうホールがあって、このくらいぐらいのとのまた上下についておるわけですよ。こちらはもうずっとホールです。そしたら、この2階部分に、ここに卓球台が置いてあるですけど、卓球があってないときは観客席になっておるんですよ。だから、そういうふうな武道場との合体を利用すれば、観客席もつくらんでいいようになるので、そういうのを研究していただきたいと思います。

牛津のほうに行けばそういうふうになっておまして、私がたまたまここに上がって見に行ったら、武雄の中学校のバレーかバスケットの方がそこに座って応援されていたですもんね。何しに来たですかって、いや、ちょっとこがんとの研究にという、ああ、大いにやってくださいよみたいなことを実際言われてもおりますので、ちょっとそこについては、合体して、実際、鹿島西部中なんかありますからね、その辺も研究していただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

次は、保育所についてです。

先ほど言いました保育所の移転等が決まれば、決まってまたそこでもう一回検討委員会を開いて、その辺での要望があれば、また配置計画も見直す可能性があるというようなことを言われたわけですがけれども、この保育所について、先般お尋ねしました。お尋ねしたというか、もう何回も原課にはずっと言い続けてきたというんですかね、そういう歴史もあります。課の職員に聞けばわかると思いますけれども。

そこで、この間はどのような答えだったかというのと、新しい幼保一体化の制度を見てからというようなことを言われましたけれども、そういう見るのもいいでしょうけれども、もともと武雄市が今の老朽化ではいかんということできてきたわけだから、その制度がどうだったらやめるとか、そういう話じゃないと思うわけですよ。それをうまく利用するということがあるかと思いますが。

そこで、これについても場所の選定とかなんとかあって庁内検討委員会を開いて話し合うということですが、その辺についての進捗についてお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

馬渡こども部長

○馬渡こども部長〔登壇〕

9月議会でも答弁いたしましたように、庁内関係各課によります公立保育所運営検討会を開催することにしております。こちらの検討会の中でも、国の新システム動向がまだ決まっていないと、非常にまだ見えない部分もあるということです。これを見据えながら今後も検討を重ねていくこととしております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

いやいや、見据えながらって、そしたら、民主党は今、もうできたりできんやったり、20%ぐらいしかできておらんというわけですよ。それを当てにして、まずするっていうこと自体が、子どものことを考えておるかなというふうに思うですね。実際、15年でこれだけはっきりしたことを書いているということは、もうその前からの話と思うわけですよ。そしたら、小学校は耐震で全部補強とか建てかえていますけど、武雄保育所は耐震化できていますか。

○議長（牟田勝浩君）

馬渡こども部長

○馬渡こども部長〔登壇〕

武雄保育所の建築から考えまして、耐震的には合致していない部分もあろうかと思いますが。

今、学校のほうをずっと耐震で改築されておりますけれども、一応、基準として、住民の避難場所としてなっているところを、まず国のほうは進められているのかなというふうに考えております。保育所のほうもこのままでいいとは確かに言えない部分もありますので、そういうシステムを見ながら検討をしていきたいと思っております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

いや、それですね、これは、今ずるずるじゃないとですよ、ずうっとずるずるなわけなんですよね。この15年の時点で、21年、22年と、若木のほうが23年、24年とはっきりしてあるわけなんですよね。だから、若木のほうが先に行っておるわけなんですよ。それで、私がちょっと思うには、もう公立保育所を民間のほうに変えようかなと。市で建てかえんで民間で建てかえてもらおうかなと思つるとじゃなかかなというような疑念さえ抱くわけですよ。そんなことはないですかね。

○議長（牟田勝浩君）

馬渡こども部長

○馬渡こども部長〔登壇〕

公立保育所の運営計画、これについては、先ほど議員おっしゃいました15年度、それから18年だったですかね、見直しがなされております。それには、一応5年間の計画ということで、22年度までの計画を一応立ててありますけれども、武雄保育所を22年度に改築するということまでの明言はされていなかったかと思っております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

いや、明言してなくて、そしたら、ここはこれが15年ですよ、7月、これが18年6月。全く同じことを書いてあるけど日付が書いていないというだけです。そして、これは運営に関する計画、こっちは実施計画ですよ、実施計画というのは、普通の計画よりもういっちょ下でしょう、もういっちょ現実的な部分でしょう。そしたら何で、ここに関する計画の下に実施計画をつくらないんですか。

○議長（牟田勝浩君）

馬渡こども部長

○馬渡こども部長〔登壇〕

その時点では基本計画で進めておりまして、現在まだ実施計画をつくるに至っておりません。

○議長（牟田勝浩君）

7 番宮本栄八議員

○7 番（宮本栄八君）〔登壇〕

女性部長にしつこく言っておりますけれども、でも、これはもう絶対耐震が、もし、地震があつて、小学校の人は助かつて、保育園の人は助からんのかなるといかんじゃなかですかね。もうこういうのを知っていて、合併特例債もあつて、するときに合併特例債なりでできるだけやっていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

次に、保育所問題のもう1点です。

今度、和田住宅が建てかえになりますけれども、その用地の一部を花島保育所のほうに貸し付けてほしいという要望が出ておりました。私はもともと持論的には保育所の環境によって子どもの環境が著しく変わるものはよくないというような思いで、この民営化に伴ってはずっと武雄市の土地の貸し付けになっておりましたけれども、私は全体に広げてもいいと思いますし、もともと小鳩の家保育園のところは貸し付けになっておったですもんね、もう以前からですね。それで、この間、花島保育所のほうを貸していいんじゃないですかって言って9月の聞き取りをしたら、いや、今の時点の規定は民間譲渡の部分については明言してあるけど、普通の分に明言していないと言われたわけなんです。だから、いや、していいんじゃないですかって言ったけど、そういうのはないと。ないと言われるとどうなるのかなと。この辺について、私は無償貸し付けはいいと思うんですけれども、その辺の規定がないと言われるからですよ、規定はなかけど、小鳩の家保育園の実績はあるわけなんです。だから、ここの整理はどうなっているのかをお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

先ほどの部長答弁に補足しますけどね、たしかあなたは、2年ほど前に市民病院の民間移譲を行うときにテレビに大々的に、いや、それは我々も議論を尽くした結果、いや、それは勝手な経済論だとかなんだとかおっしゃっていて、それについて我々はすごい恐怖心を持っているんですよ。だから、やっぱり議論というのをする必要があります。

それともう1つが、今の保育所を建てかえたほうがいいのか、それとも新たな場所を探して、例えば新たな病児保育等を中心として行うのがいいのか、それとも、民主党政権が出す方針にのっとってやるのがいいのかということで非常に今混迷を深めて、我々がじゃなくて、保育を取り巻く環境というのは今激変期にありますので、余りこども部長ばいじめたらどうかということだと思いますね。

それともう1つ、やっぱりここに出てくるのは住民訴訟なんです。平野さんと江原さんが記者会見をされたように、25億円の、本来なら26億円で売するのに、たった4億円でしか売っていないと。これ、また無償譲渡をしたら、また訴えられますよ。この論理の整合性が共

産党の皆さんたちは破綻しかねるとなりかねませんのでね。だから、そういう意味で言うと、我々とすれば、無償譲渡ということの観点からすると、非常にシビアに考えなきゃいけないと思っております。

したがって、先ほど小鳩の家の過去の話も出ましたけれども、全部一たん見直します。本当に、今までの論理構築をした上で、無償貸与、無償譲渡等々含めて、一たん本当にこれでいいのかということも含めて、それはちょっと考えさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

無償譲渡じゃないですよ、無償貸し付けですよ。（「貸与で言うたたい」と呼ぶ者あり）貸与でしょう。（発言する者あり）貸与ですよ。だから、貸すわけだから、別に、資産が減るわけじゃないですよ。ただ、貸すわけだからですね。無償貸与だからですよ。無償貸与だから、貸すわけだから、別に病院を安く売ったのに上乗せされるということではないと思います。

そして、私は子ども部長を応援しております。

それと、1,200万円については、体育館と武道場を合体すると、多分、玄関のつくりとか、壁面の材料とか、いろいろ総額的に考えれば1,200万円節約できるんじゃないかなというふうに思っています。

ということで、無償貸し付けだから、別に資産が減るわけじゃなくて、もうそれだったら、まだ市が持っている遊休資産の売却をして、それを役立てればいいんじゃないかなというふうに思っております。

だから、そういうふうにせんと、結局もともと出発が宗教というですかね、お寺の園庭とか、そういうのを利用したやっぱり戦後のやつが多いとですよ、はっきり言えば。もともと園庭を結局利用して保育園を始めてあるとかですよ。ずっと近代化してくると、そこにばっかり頼っていいのかなというふうなことも思っておりますので、その点、御検討をよろしくお願いします。（発言する者あり）

ということで、私は本来、子どもは選べるっていても、結局、こっちからあそこに行きなさい、あそこがあいているからあそこに行きなさいというわけだからですよ、結局ある程度園が平均化しておらんと、やっぱりいかんのじゃないかなというふうに思っております。その辺の経営者の状況によって、いいところだったり悪かったところだったりとかですよ、そういうのではやっぱりいかんのじゃないかなというふうに思っています。

次は、公園についてです。

今、イクメンばやりっていうですかね、そういうことがあって、私も昔市議員に落ちて

いるときにはイクメンであって、結構あっちこっちの施設も歩いております。そのときに、山内の中央公園というところにもよく行っていました。そして、草スキーとかもしたりしてですね。

そのときまだ新しい感じで、行けば、わあっと、うきうきとするような感じのところだったわけです。それで、今また山内のほうにも時々行くと、前とあんまり変わらなごたつ状態かなということで、もうちょっと大きく、金をかけんでも、ちょっと塗りかえたりすることによって、もうちょっと子どもを連れていったときにうきうきなるような感じにできかなというふうに思うわけですよ。だから、お金もたくさん要るときだと思いますので、その辺にもうちょっと手を入れて塗りかえぐらいできたらどうかと。

そして、草スキーのボードが5枚あるんですよ。でも、4枚は割れているんですよ。だから、最低、その辺の整備とかですね。だから、逆に言うと、あんまり行って見よんされんとやなかかなというような感じに思うわけなんですよ。だから、その辺についてのお考えをお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

牟田山内支所長

○牟田山内支所長〔登壇〕

山内中央公園のちびっこ広場でございますけれども、平成元年に整備をいたしております。既に22年が経過をいたしております。今御指摘がありましたとおりに、全体的に老朽化が見受けられております。そういうふうなことで、定期的に遊具等の点検はいたしておりますけれども、言われたとおりに色あせ等が見えるところは確かにございます。毎年、予算等をお願いしながら、補修とか修繕工事は行っているところでございます。

また、樹木につきましても、剪定を年1回、それから防除を年2回、また、枯れた木が若干ありますので、それにつきましても植えかえを予定しておるところでございます。

また、先ほどありました草スキーのそりでございますけれども、材質がプラスチックできております。そういうことで、非常に割れやすいということで、年に数回取りかえはしておりますけれども、そういうことで長くもてないというのが現状でございます。

以上でございます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

あれは、使って割れたんじゃないと思うんですよ。かけるところが老朽化しているからですよ、かけるところで、かけて割れているみたいですね。使った後にかけると、かけるところがなんかフックが、何かにわかづくりみたいなやつで、ま、もう細かい話はやめます。ぜひとも少しでも利用者のニーズを聞いていただいて、整備をしていただくことをお願いして

おきます。

次に、保養村の件です。

ちょっと保養村について、ほたる祭りのときにちょっと行ってみましたら、子どもが、鳥にえさをやるどころの階段で釣りをしよったら、管理人の人から、「ここは釣っぎいかんばい」と言われよらしたわけですよ。そして、以前、ボートのところに浮きマットなんか前よりふえたですもんね。そこで釣れるかなといったら、そこも釣ったらいかんわけですよ。そしたら、結局、釣るところがもう何か階段をおりていった島というか、一部しかないとか、それは一つの例ですけれども、最近、保養村について、SL公園のほうがメーンの滑り台もなくなっておりますので、もうちょっと何か一ひねり整備してもいいんじゃないかなと。以前聞きましたら、角部長のほうで、第3次保養村総合計画を実施するとか何とか言われましたけれども、そこまでするよなあれじゃないと思うわけですよ。だから、そこまで大々的に構えないで、もう少し小さな計画を持って整備することができないかお聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

渚野営業部長

○渚野営業部長〔登壇〕

保養村の子どもの遊び場でございますけれども、ほかに整備ができないかということでございますが、まず、整備については今のところ考えていません。今の遊び場、ボート乗り場のところですね、あそここのところには、安全な振動系遊具を10月に設置をしたところです。あそこにありますせせらぎプロムナードとか何とか、子どもたちそのものの遊び場だというふうに考えています。夏は水遊びですね、それから、虫とりとか、そういうところも子どもたちの遊び場じゃないかなというふうに考えています。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

プロムナードですね、これはまた次回に質問したいと思います。

今度は、白岩運動公園です。

今度、経済対策を利用して、駐車場の面の舗装がえを大々的にされてきました。そこで、この間、バスが多分、白岩体育館に選手なんかを送って、駐車場に入ろうとしていたけれども入り口がこう狭くて、私たちは後ろから来ていたんですけれどもちょっと待っていたと。そこを一生懸命切り返して入っていたということで、あそこはそういう大型バスが入っていないなら入っていいで、入り口をもうちょっと改造せんといかんし、入ったらいかんで車どめをせんといかんなら車どめをせんといかんと。実際あそこはどうなっているんでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

御指摘の白岩競技場下の駐車場ですけれども、バスの進入については制限はしておりません。そこで、今、議員御指摘のように、体育館のほうから大型車両が駐車場に入る場合、入り口直近付近に駐車スペースがありますけれども、そこに車がおったりするときは入りにくい状況ではありますけれども、駐車場入り口そのものの間口が7メートルは確保されておりますので、広げるまでの必要はないかと考えております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

間口と前面道路との関係もあると思うとですよ、はっきり言うて。間口は広がっても切れんときもあるですもんね、こっち側が余裕を持って回れんとです。だから、その辺についてもちょっと研究をお願いします。実際、そのバスが入るところを見てですね。

次に、ちょっと道路関係のことについてお尋ねします。

高架区画整理で一番期待したのは、もう以前から言っております松原交差点ですけれども、これが正常信号機になるのはいつでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

松原交差点の信号の件でございますけれども、再三お答えをしておりますけれども、交差点部分の工事そのものが、県の事業で駅前通りのほう、甘久武雄線と申しますけれども、それと、市役所の横の内町迎田線、その分が県事業で進められておりますけれども、まだ相当時間も要するようでございます。交差点の形状が完成期になれば、公安委員会と、当然、協議しながら、正常の信号機が設置されるかと思えます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

ということは、もう最終になってから信号機が正常になるということですかね。仮状態ではならんということになるわけですかね。そしたら、今のままもう何年もたつということですね。（発言する者あり）はい。

次、小楠花島線の件です。

今度は、こっちの新病院のほうにバイパスのほうから道ができます。その後、武雄川を渡るんですけれども、ここの戸樋渡橋をまたかけかえるということで、こっちのほうに、花島のほうに通行するようになると思うんですけれども、そうなれば、どうしてもこっちの農道のほうをきれいにせんとみんなびっくりすると思うわけですね、夜通いよってですね。11メ

ートル道路ですかね、何か来て、急に農道になって、農道には何かコンクリートの分離帯があるのかなっておるもので、もうみんな、あぁっと思ってびっくりするような道路の関係になるんじゃないかなと思いますけれども、ここの小楠花島線の戸樋渡橋から花島側というのですかね、南側についてはいつごろ整備する予定でしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

小楠花島線につきましては、今回、新武雄病院の開発に伴いまして、戸樋渡橋までは22年度末の完成を予定しております。その後、今回、議案で提案をお願いしておりますけれども、国道から県道武雄多久線、仮称、五反田山下線としておりますけれども、その分を交付金事業で進めていきますけれども、その後、小楠花島線の戸樋渡橋を先ほど申しました五反田山下線のある程度めどがついた段階で戸樋渡橋の整備を進めていこうかなと。それは、25年以降になるかと思っております。その後、先ほど議員農道と言われましたけれども、その分も市道でございまして、道路改築ですけれども、地元の意向や投資財源等を見ながらになりますので、現時点ではちょっといつというのはわかりません。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

今の話を要約しますと、新病院の北側の道路を先にするという話ですよ。その後、25年以降に南に下がってくるかもしれないということですよ。いや、もう普通考えたら、ここまでするんだったら、これを先にして上を後にしたほうが一般的にはいいんじゃないかなと。片方は途中でぐっととまって、向こう側はもうできよつと。ちょっとその辺も何か研究をするなり、同時にするお金を何か見つけ出すなりしていただきたいと思います。

次に、ちょっとはしょって、次は住宅の件です。

今度、和田住宅が建てかえになります。そこで私が前からこだわっていた政策空き家というのを、ずうっと前から空き家をつくっておかんといかんから、その戸数の、工事時期よりもずうっと前から空き家をつくっておかんといかんから、延べでいけば空き家をたくさんつくらんといかん。だから、その解消を、今度建てる時してくださいというようなことを言ってもおったわけですよ。それで、その辺がどうなっているのかなと思って、ちょっと尋ねに行ったら、「いや、もう十分に大丈夫ですよ」と言うから、「いや、十分に大丈夫って、どがんふうに考えておると」って聞いたら、「いや、5階建てだからですね」とか言うわけですよ。「ああん」って。今、ほとんど平家のところは5階建てになるというわけですよ。しかし、それはもう政策空き家はできんと思うけれども、私のイメージからは住宅マスタープランというのを武雄市つくっておるですよ。それで、地域に応じたような格好の

ことをして、下山住宅、栗原住宅とか意外と地域に応じた低層の住宅を建ててきたわけですよ。その前は、中野住宅みたいな大きなのを建てよったですけども。

そいぎ、今度、5階建てを建てると言うばってん、その地域は2種住専ですよ。御船山のほんな周辺は1種だけれども、それよりもちょっと離れて制限する2種住専地域で、皆さんに低い家を建てましょうと推奨をしようわけですよ。そして、武雄市はそがん、人に低い家を建てましょうと推奨をしようって、いや、自分は5階建てば建つっというわけですよ。5階建てといえば、なかなか武雄もなかですもんね。エスポアールとかそがんとはあるかもしれんですけどね。だから、本当にこいがよかとかなのちよっと疑問に思うところがあるわけですよ。

それは、用途地域の関係もあるし、もういっちょは、以前ずっと建てかえあって、今度、和田住宅とか建てる時は2階建ての木造で、くしくも出ておりました地元の木材を使ったりして、そして、結局、ビルになればA級業者しかできんわけですよ。できんことはなかかもしれんけど、A級業者に限られてくるわけですよ。そいぎ、全部がそういうビルのA級ばかりになるぎですよ、B級とかなんとか、そがんもんの仕事が、以前はそれでできたのが、今度できんごとなってくっちゃなかかなという、そういう分散できんということにもなってくっちゃなかとですかね。これが、まだ小原住宅も5階建てとか、ずうっとなっていけばですね。その辺もちょっと疑問に思うところがあるわけですよ。

そして、今度の住宅マスタープランには、民間アパートがたくさんできているから、民間のほうに任せるのは任せて、低所得者とか高齢者向けを力入れてなっておるわけですよ。そいけん、それから考えても、ビルにすれば単価の上がるけんが、低所得者の家賃の上がるとじゃなかかなと、こう思うわけなんですよ。だから、その辺もちょっと私の想像からすると、この5階建てというのがびんとこないわけなんですよ。だから、もっと早う話聞いておけばよかったとかなの思ったりもすっばってん、まずはたたき台の出るまではじっとしておくというのが私のやり方やけんですよ。そいけん、今、ごっといたたき台の出た後にごちやごちや言いよっつですけども。

だから、この5階建てじゃなくて、木造2階建てんごたっつでしたほうがいとやなかかなというふうに思いますけれども、どうでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

宇宙的な、「はやぶさ」的な見解を本当にありがたく思っていますし、ここまで来ると、やっぱりもう空想が妄想になられるのかなと思って、よく考えていただきたいんですけども、業者さんの意向とかじゃなくて、実際に住まれている方がどういうふうにお思いなのか。ハートのわかる宮本栄八議員だったらそれはわかっていただけだと思うんですよ。

その上で、ユニバーサルデザイン、これを進める必要があることから、木造の2階建てよりも、エレベーターをきちんと入れた形でのエレベーターを設置すると。それと、電気代がこれ、結構かかります。そういった中で、電気代等を考えた場合には、木造2階建て、あるいは3階建てよりも5階建てにして、ある程度の集中的な管理をしたほうが、個々の電気代が安くなるということは宮本栄八議員も御存じのとおりだと思います。そして、何よりも、和田住宅、私の同級生のお父さん、お母さんも住まれていますけれども、いろんな話を聞くと、やっぱりここに住みたいと。もう自分たちの人生がもうこの地区に詰まっているという観点から、やはり階層を上げることで半分以上の方が仮転居をせずに直接入居ができるわけですね。逆に、低層階を数多く建てた場合に、コストがふえて、逆に住民負担がかかるといふことにもなりますので、我々、二重、三重、四重、五重に、五重の塔ぐらいに考えているんですよ。その上で、景観の話が出てきましたけれども、あそこの場合は、私が最初の公約で出したこともあるんですけども、特にそこで何らかの景観を損ねているとは思いません。

そしてもう1つ、今、独居の年配の方がふえております。そういった中で、今回、私も説明を副市長とともに担当課から受けましたけれども、非常によくできているのが、実は、もう単身で入れる住宅が、1DKが幾つもあるんですよ。しかも、家族で入られるところが、なるべく1DKは1DKで固めずに、例えば、3DK、御家族ですよ、あるいは3世代になるかもしれない、それと1DK、そして、もう1戸3DKが組み合わせさせてできる、これは低層階じゃ無理なんですよ。だから、そういったコミュニティーの維持形成の観点からも、この高層住宅がすべてがベストだとは思いません。そういった中で、我々としては、住民の皆さん方の意見も拝聴しながら、そして、いろんなコストの面も考えながら考えているところでありますので、心配御無用です。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

今あそこに住まれる方は、意外と高齢者が多いんですよ。だから、その方が、いや高層でいいですよということであれば、まあ、やむを得んかなと思うんですけども、何かそこに庭をつくったりなんかして、楽しまれている方も結構おるから、ああ、そうじゃないかなと。

それと、木造でつくるよりも、鉄筋のほうが家賃が安ければ、それはやむを得んかなと思うけれども、普通、重量鉄骨みたいにつくれば、多分、木造の単価より高いと私は思いますけれども、そうでなかったらやむを得んと思います。ただ、住民の意見は、ちゃんと聞いていただきたいと思います。

次に、3番目の、西部広域ごみ処理場についてです。

前回、黒岩議員がいろいろ指摘されておりましたので、それがどういうふうになっているのかなということで聞き取りをしたら、それを念頭に、課長会というですかね、そういうのでもやっているということで、ああ、そしたらわかりましたということで、その質問はあれしております。

それで、一方、西部広域ごみ処理場のほうで何か時間をとって話し合うということで話し合いが始まりそうだというふうな話を聞いておりますけれども、実際、スケジュールはどうなっているのかが1点と、私がチラシを配っておったですけれども、住民の方から、「ちゃんと市報かなんとかで教えんさろうもん」と、こう言いんさっけん、「いや、ちょっとわからんですね」というふうに答えたんですけれども、私のチラシも全部全部行ってわけじゃないからですね、その辺について、市からの説明はどういうふうになっているのか、その2点お聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

前田副市長

○前田副市長〔登壇〕

ごみ処理の件についてでございますけれども、10月26日に組合の臨時会がございまして、それを受けまして11月25日の日に市町長会がございました。その中で、管理者である伊万里市長のほうから、もう少し、検討部会、あるいは建設委員会等で、中身について再検証をしたいということでございますので、ことし、年内、建設委員会、いわゆる副市町長会を開いて、今後の方針等についてはどうするかということで検討を始めていくということでございます。

それから、地元の説明でございますが、当然、予定されておる地区の周辺、武雄市で言いますと、多々良地区、あるいは柚ノ木原地区については、ある程度の説明はあっておりますが、市全体としてはまだ方向性等が決まっていませんのでまだですが、時期を見ながら、そこら辺については説明会をやっていくというふうに考えます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

ある程度まとまったって、完全にまとまる前に、やっぱり説明して意見を聞いていただければというふうに思います。ということで、セメント原料化が固まらなかったもので、私個人としてはいいとは思いますが、

次に、4番目の上下水道についてです。

1、水道接続についてです。

これは先ほど末藤議員のほうからあっておりましたけれども、犬走の石綿管を圧力の関係で改修したということで、あそこまでつながったということで、私は以前から、合併したら、

踊瀬のほうから上西山に配管して、武雄の水道と山内の水道をつないで安定化を図るというですかね。そして、今度は犬走のほうの先の高瀬のほうも、ちょっと距離はよくわからんですけれども、そっちもつなげるんじゃないかなと。そして、全体がループ状になるというふうに思っておりますけれども、それで安定化が図れると、水融通ができるということで考えておりますけれども、市の計画はどうなっていますか。

○議長（牟田勝浩君）

宮下水道部長

○宮下水道部長〔登壇〕

現在、山内町におきます配水量、これは大野浄水場関係で1日平均2,200トン、犬走浄水場関係で500トンということで、合計2,700トン程度でございます。

浄水能力が、大野浄水場で1日3,000トンということでございますので、こちらの淵ノ尾から送るとなりますと、ポンプアップ等々の新たなる設備投資の必要が出てきますので、現在のところ、大野浄水場で賄えないかということで、先ほどの答弁でもそれを先行的に試行したいということで御答弁をいたしたところです。

そのほかの地区の、いわゆる非常時のセーフティー対策としての連結ということについては、北方町につきましては、橘町鳴瀬と医王寺間の連結、あるいは山内町については、武内町と山内町の鳥海との連結、これについては、今後、計画をしていきたいというふうに考えております。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

橘と武内のほうはつなぐという予定ということですよ。それで、私が言っている西川登とか上西山のはまだ考えていないということですね。できれば、ぜひとも考えていただいて、何も下から揚げろとは思っておらんですよね。はっきり言えば、淵ノ尾のやつを上西山の上までポンプアップする動力を山内町からおろしてもらったら、その分のポンプアップ代が要らないんじゃないかなというふうに思っておるだけで、武雄から揚げようというのはもともとと思っていませんので、よろしく願います。

次は、下水道の料金統一です。

この間、20年に決めたんですかね、それから5年以内に統一すると。そのときの雰囲気じゃ値上げ統一みたいな雰囲気だったと思うんですよ。それで、農排と下水道戸別浄化槽という、約900円ぐらいの20立方メートルで差があるわけですよ。今度、北方は橘下のほうと大崎のほうが隣接していくんですよ。そしたら、向こうは900円高い、こっちは900円安いとかですね、そういうふうになるのも余りいい話じゃない。待たされた上に値段は高いと、余りよくないかなと。だから、もう1回、もう農排料金に合わせて、安いほうに合わせ

て、それから今後、経費がどれだけかかるからどうだというふうに言ったほうがいいんじゃないかなというふうには私は考えるんですけども、市は5年で統一するという考えの方針というのはどういうところにあるんですかね。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

先ほど御指摘の橋下地区あたりにも既に今整備完了している農業集落排水事業と今回の公共下水道、その辺ちょっと事業が異なりますので御理解をいただきたいと思いますが、公共下水道につきましては、事業実施中でもありまして、使用者が拡大している状況でありまして、現時点では維持管理費と使用料のバランスなど見きわめる状態にまでは来ていないと。

そしてまた、戸別浄化槽につきましても事業開始したばかりでございまして、維持管理費や使用料収入などの経営状態をもう少し見ないと適切な料金設定も困難だと考えておりますので、現時点におきましては、料金の統一は考えていないということでございます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

だから、5年以内にそういうふうにすると言われていたからですよ、今、20、21、22年ですよね。だから、あと2年ぐらいから、実際する前には事前の広報とかなんとなかがあるからですよ、期間的には余り、もう1年ちょっとしかなかわけですよ。だから、そこで具体的やなくて、方針というですかね、方針はもうもともとの維持経費がかかれば、維持経費がかかったのが比例して料金になるということですか。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

先ほど申し上げましたように、そこら辺の維持管理と使用料、バランス、そこら辺を見て、上げるか下がるかわかりませんが、判断していきたいと思えます。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

そしたら、農排がひよっとすっぎですよ、計算したら、維持管理費のいっばいかかいよって、ばーんて、こう上がっこともあり得っですよ。意外と戸別浄化槽はかかいよらんで、がくっと下がっかもしれんと。そがんでよかかなあというともあるわけですよ。

それで、まず、計算の基礎は、維持管理費で言われるからですよ。だから、決算で一応委

託料とかなんとか分かれておるですけれども、委託料も、設計委託料もあれば、維持管理委託料もあるけんがですね、ちょっと計算がしづらいということで、純粹なる人件費を含めた維持管理料を計算して、ちょっと市民の前とか議員に提出していただきたいと思いたくけれども、その辺どうでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

それぞれ事業ごとに維持管理、事業費等に分けて予算決算を行っておりまして、維持管理費に充当する分は使用料収入、事業費に充当するものとして国庫補助金と分担金、負担金、起債借り入れなど、不足分につきましては、一般会計からの繰り入れ等であらわしております、それぞれの決算書を見ていただくとわかるかと思いたくけれども、決算書をもとに収支の表は作成できるかと思いたくします。

○議長（牟田勝浩君）

7番宮本栄八議員

○7番（宮本栄八君）〔登壇〕

決算書をあっちこっち見れってということじゃなくてですね、もうそういう維持費から計算するといったら、それを市民に見せて、この維持費かけ過ぎばいと、高木さんと一緒に見に行つたある漁業排水なんかは、もう金がかかるけんが、自分たちで資格取って管理して黒字出してあつところもあるわけですよ。だから、まずそれを出してもらわんといかんと思いたくしますので、よろしくお願ひします。

以上で質問を終わります。